(2022.12)
(情報公開文章用)

作成日　2025 年 6 月 25 日
第 1 版作成

2010 年 4 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に当院において維持透析中に肺癌に対して手術を受けられた方及びご家族の方へ

―「当院における維持透析中の肺癌患者に対する手術成績」へのご協力のお願い―

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学	呼吸器外科学	講師	野島雄史
研究分担者	川崎医科大学	呼吸器外科学	教授	中田昌男
	川崎医科大学	呼吸器外科学	准教授	清水克彦
	川崎医科大学	呼吸器外科学	講師	最相晋輔
	川崎医科大学	呼吸器外科学	臨床助教	松谷隆志
	川崎医科大学	呼吸器外科学	臨床助教	杉山浩樹

１．研究の概要

透析技術が進歩したため、透析をしている方でも長期期間生存することが可能になりました。そのため、透析を行いながら生活している方で肺癌などを発症する方が増加しています。透析をしている方が肺癌等を発症した場合、抗がん剤治療は行えない状態であることが多く、そういった方には手術の重要性が高くなります。しかし、透析をしている方は透析以外にも様々な病気があることが多く、手術の方法や手術前後の全身管理について、十分に注意する必要があります。今回は透析中に当院で肺癌に対して手術を行った方について手術の治療効果や安全性などについて検討します。

２．研究の方法

1）研究対象者

2010 年 4 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院呼吸器外科において維持透析中に肺癌の手術を受けられた方を研究対象とします。

2）研究期間

倫理委員会承認日～2026 年 6 月 30 日

3）研究方法

上記の研究対象期間に当院において肺癌の手術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに周術期の透析記録、術中管理記録や術後合併症・予後等に関するデータを選び、有効性・安全性に関する分析を行

い、透析中の方に対する手術の効果と安全性を得るための仕組みについて調べます。

4）使用する情報の種類

情報：年齢・性別・透析歴・併存疾患・術後輸液量・術後透析再開日・手術アプローチ(胸腔鏡/開胸)・術式(肺葉切除術/区域切除術/部分切除術)・手術時間・術中出血量・術後合併症の有無・病理所見(組織型)・病理病期・予後など

5）情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学呼吸器外科学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6）研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026 年 3 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

＜問い合わせ・連絡先＞

川崎医科大学附属病院　呼吸器外科
氏名：野島雄史
電話：086-462-1111　内線 25519（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）
ファックス：086-464-1124
E-mail：n.yuji@med.kawasaki-m.ac.jp

３．資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。